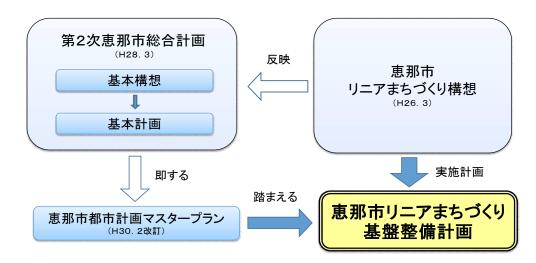
#### 計画の位置づけ

本計画は、第2次恵那市総合計画などに即して策定された恵那市都市計画マスタープランで示し ている将来都市像を踏まえながら、リニアまちづくり構想に掲げる基盤整備施策の具体的な計画に ついて定めるものです。リニアの建設を契機として、リニアの効果を最大限発揮するとともに、交 通混雑箇所などの課題の解消を目指した基盤整備を行います。



#### 整備方針

「地域づくりを支える基盤整備の取組み」として、基盤整備方針を「広域アクセスに関すること」 「市内アクセスに関すること」「まちづくりに必要な基盤整備」の3つの施策に体系づけ、地域づく りを支える基盤整備の取組を示します。

この3つの施策を達成するための具体的な事業を、前期計画・後期計画・将来計画と3つの期間 において効果的に実施できるよう、整備効果の高い事業から順番に体系付けました。

リニアインパクトを市の活性化へと結びつけ、観光や産業の振興によるまちづくりを支えるため の具体的な取組みを計画します。 基盤整備に取り組むための

## 「地域づくのを支える基盤整備」 "3つの施策"

#### (1)広域アクセスに関すること "3つの期間" リニア中央新幹線 リニア中央新幹線 東京一大阪間開業※ 東京一名古屋間開業 令和2年 (2020年) (2027年) (2037年) ·三河·東美濃連絡道路(国道257号) 将来計画 前期計画:7年 後期計画:10年 ステップ3 ステップ2 ステップ 1

(3)まちづくりに必要な基盤整備

スマートインターチェンジ及びアクセス

・瑞浪恵那道路整備に伴う周辺道路の整備

・恵那西丁業団地及びアクセス道路の整備

・リニア軌道により分断される道路・水路

・ 武並駅周辺の基盤整備

#### 地域づくりを支える 基盤整備

• 東濃東部都市間連絡道路

• 主要地方道豊田明智線

• 国道19号 (瑞浪恵那道路)

·国道418号·県道恵那八百津線

• 主要地方道恵那蛭川東白川線 • 主要地方道恵那白川線

#### (2)市内アクセスに関すること

- 市街地環状道路
- ▶主要地方道恵那白川線の混雑の解消
- ▶永田ランプの混雑の解消
- ▶市道土々ヶ根観音寺線・市道長島奥戸 線の改良
- ▶市街地南側から入る道路軸の強化
- 市街地縦断道路
- ▶都市計画道路寺平的ヶ屋敷の整備

# 1) 広域アクセスに関すること

リニア岐阜県駅との交通アクセスについて は、在来線の中央本線に加え、車が主な交通手 段であるこの地域においては、道路が重要な役 割を果たします。

広域的な交通基盤においては、東西方向に加 え南北方向の交通基盤を整え、この地域に人や モノが集まる交通の結節点となるよう整備し ます。

広域アクセスの整備により、周辺地域(市) との連携(結びつき)を強化し、ひと(観光)、 もの(産業)、かね(商業)を外部より呼び込 みます。

特に産業の集積している愛知県(豊田市)と の結びつきを強化するために、南北の幹線ルー トの強化及び多重化を図ります。

東西においては、国道 19 号瑞浪恵那道路の 整備により、物流の大動脈をさらに強化し、産 業振興・観光振興に波及させていきます。



基本施策	実施事業	実施時期		
		前期計画	後期計画	将来計画
広域アクセスに関すること	広域アクセスに関する要望	/	_	
		×		

## 2) 市内アクセスに関すること

周辺部から市街地へ流入する交通を分散化 させ、市街地の慢性的な渋滞の解消を図り、 交通の速達性の向上を図るため、環状道路の 整備を進めます。

環状道路の整備にあたっては、既存道路を 有効に利用しながら、必要な区間について順 次整備を行います。環状道路の南側は、国道 19号に交通が集中しないよう、国道 19号 の南側に環状道路を設け、複線化を図ります。

また、都市計画道路寺平的ヶ屋敷線を市街 地縦断道路と位置づけ、整備を進めます。



市街地環状道路及び市街地縦断道路のイメージ図

基本施策	実施事業		実施時期		
		前期計画	後期計画	将来計画	
市内アクセスに関すること	市街地環状道路の整備				
		N N		· ·	
	市街地縦断道路の整備	2			
		V		r	

# 3) まちづくりに必要な基盤整備

リニア建設工事用道路やリニア軌道の側道などの建設に加え、リニアに伴う地域の分断等を最小限に抑えるための基盤整備を行います。そのためには、リニアや広域幹線の整備に伴って発生するストッ ク効果を有効に活用し、土地利用の増進、商工業の発展、地域振興への効果が見込まれるアクセス道路や周辺整備を進める必要があります。

方策の一つとして、恵那インターチェンジ利用者を分散させ、恵那インターチェンジ周辺の混雑を解消するため、恵那峡サービスエリアにスマートインターチェンジの設置を目指します。 また、リニア軌道沿線地域及び瑞浪恵那道路沿線地域等の基盤整備計画の策定を行い、計画的な基盤整備を進めます。 前期計画 後期計画 将来計画 令和9年~18年 令和19年~ 令和2年~8年 リニア車両基地 中津川市 (リニア 東京ー名古屋間開業まで7年間) 恵那市 (リニア 東京一大阪間開業まで10年間) 〇将来計画 (リニア 東京一大阪間開業以降) 整備計画に実施時期を設定し、事業を分類 リニア軌道により分断される道路・水路等の機能回復 恵那駅北地区の基盤整備 スマートインターチェンジ及びアクセス道路整備 スマートIC 土地利用(市街地開発事業) 一 11 一 行政界 濃飛橫断自動車道 雀子ヶ根地区企業用地(仮称) 瑞浪恵那道路 大井町東 東濃東部都市間連絡道路 武並駅周辺の基盤整備 野尻・野畑・大井長島 地区 00000 市街地環状道路 武並駅西部 市街地縦断道路 恵那駅北 前期計画(道路) 恵那西工業団地及びアクセス道路の整備 前期計画(河川改修・雨水幹線) 基本施第 実施時期 前期計画 後期計画 将来計画 実施事業 スマートインターチェンジ及びアクセス道路整備 将来計画(市街地縦断道路) 瑞浪恵那道路整備に伴う周辺道路整備と武並駅周辺の基盤整 交差点の混雑解消 恵那西工業団地及びアクセス道路の整備 まちづくりに必要な基盤整備 リニア軌道により分断される道路・水路等の機能確保 瑞浪恵那道路整備に伴う周辺道路整備 後期計画 (道路) リニアの工事業道路の計画的利用 リニア及び瑞浪恵那道路沿線地域のまちづくり 瑞浪恵那道路沿線地域のまちづくり

恵那駅北地区の基盤整備

将来計画 (道路)